

事務局の瀬下補佐が参考9-1(今後の予定)を説明した後、信濃参事官が参考9-3(GX 評価小委の見解)を説明し、その後2分程の質疑応答があった。(GX ロケットの審議の中で、「今後の課題」とされた部分が多過ぎて結審出来なかった様で、JAXA が検討を続け、状況を明確に出来る様になるまで、暫く小委員会の審議を待つと云う事の様である。)

青江部会長:はいどうぞ。

鈴木:じゃあ。これはそうしますと、いつごろどう云う風に、今後進むと云う事なんでしょうか。

青江部会長:こう云う、所謂宿題を出して居る訳ですネ。あの、評価を受けるべきJAXA に対しまして、此れだけの事をキチッと整理をして、そう云う事でないと評価、中々出来ませんよネエ。だから其処は「持って来なさい。」こう言っとる訳ですネ。従いまして、其れが上がって来なければ中々一寸議論が進捗をしないと云う事で御座いまして、まあ、出来る限り早急に、JAXA としては作業を進めたいと云う事の様で御座いますので、其れを待ちたいと。

鈴木:そうしますと、今後のスケジュールはまだ未定だと云う事で、そう云う段階でしょうか。

青江部会長:はい。

鈴木:分かりました。それからあの、前回 LNG 委員会ってありまして、あれの結論と云うのは、現在も生きてるんでしょうか。

青江部会長:LNG 飛行実証プロジェクトにつきましての中間評価を行った訳で御座いますネ、2 年前に。その評価結果自体

は、其れは論理的には生きて居る訳ですネ。それで、新しい事態が生じたから、其の新しい事態下に於きましての評価を今継続中と云う意味に於きましては、此の、前回の評価は新ではない訳ですネ。それで多分新しい状況に対する対応と云う意味に於いての評価が、此れが為されれば多分此れは内包される様な事になって行くんだろうと云う風に思います。

鈴木:はい、分かりました。

池上:あ、すみません。今の件はですネ、今の小委員会二つありまして、一つは民間から依頼された GX ロケット全体についての評価と、それから JAXA がこれまでやって来ました LNG 推進飛行実証についてのプロジェクト、で、両方評価する事になってます。ですから、予定通り、今、評価をすると云う事でご理解頂ければと。

青江部会長:宜しゅう御座いましょうか。それでは、(以下省略)